

授業づくりのQ&A —小学校算数科—

Q1：自力解決の場面で「記録に残す評価」を設定したいのですが、授業中にノートの記述を分析して評価を行うことが難しいです。どのように評価を行えばよいですか。



A：自力解決の時間は、全児童の記録を残す時間ではなく、本時の目標をもとに、一人一人の学びの様子を見とり、その状況に応じて必要な働きかけをする時間です。自力解決の場面における記録に残す評価をするためには、授業終了時にノートを回収し、記述を基に評価する方法が考えられます。その際、ノートに書かれている内容がその児童の考えなのか、友達の考えなのかを判断しやすくするために、自分の考えと友達の考えを分けて書くように指導することが大切です。

☞『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校編 算数』p.66-67

Q2：クラス全体で学び合う場面で、一部の児童による発表だけで問題解決してしまいます。児童一人一人が自分の考えを広げたり深めたりするためには、どのようにすればよいですか。



A：クラス全体で学び合う場面では、児童が考えを広げたり深めたりすることができるように、「話し合う活動」を教師がコーディネートすることが大切です。児童が自分の考えを広げたり深めたりすることにつながる手立てや発問の工夫をしましょう。授業に取り入れる手立てと発問例について下記に示しています。

授業に取り入れる手立て	発問例
(ア)発表された図や式のみを提示して解釈したり、関連付けたりする場を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・(図を示して) どうしてこのような図になるのか、説明できますか。 ・(式を示して) ○○さんが書いた式は、どのような意味でしょうか。図で表せますか。
(イ)発表を区切り、続きを考えたり、発表したことをほかの児童が再現したりする場を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・○○さんの考えの続きを説明できますか。 ・○○さんが□□と言ったのはどのような意味でしょうか。
(ウ)授業のねらいに応じた視点を基に、複数の考えの共通点を考えたり、よりよい考えを検討したりする場を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に整理した2つの考えについて共通していることや違いはどのようなことですか。 ・この図が分かりやすいと思うところはどのようなところでしょうか。
(エ)考えの共通点や相違点に目を向けて表現したり説明したりすることで、これまでの学習と関連付けたり、より根拠を明らかにしたり、よりよい考えに高めたりする場を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしてそのように考えたのですか。 ・○○さんはどうしてそのように考えたと思いますか。 ・本当にそのようになりますか。 ・例えば、どのようなことですか。

なお、問題解決の過程が分かるように、キーワードとなる数学的な見方・考え方を明確にした板書計画を立てることも大切です。